

サビエル生誕五百年



藤屋 侃士  
(下松市幸ヶ丘)

が通れるところが多い、何といつても一人の娘も一緒に気ままな家族旅行。ガイドブック片手に自分たちのペースで観光ができるのが

良い。  
さて、ヨーロッパはキリスト教抜きには考えられない。ドイツは宗教改革を進めたマルテン・ルターが生まれた国。ガイドブックにはランクフルトの旧市街に四つの大きな教会が紹介されている。

### (3) パウロ教会

一二七〇年にフラン

シスコ会の修道院として建てられたが、宗教改革後はプロテスタン

皇帝の大聖堂を訪れいを犯す。人間は誰で

会でも歴史の中で間違

でも有名。どの教会も歴史的価値も高く、世界遺産に重ねの中に生きているのであり、洗礼が重くの登録されてもおかしくのものばかり。机上のしかかる。

### 《巡礼心得メモ》

教改革が目前で展開される。

神の言葉を伝える教

義のシンボル的存在。

式の光景を想像する。

カトリックの信者だと

自分もこの歴史の積み

## 旧市街の四つの教会

### （4）金祝・ドイツの旅④

中世の街並みがそのまま残るヨーロッパの街が好きだ。「旧市街」と呼ばれることが多い地区は中世の世界にタイムスリップさせる。

歩かねばならない。前回のベルギー・オランダツアードラムの旧市街を歩いた夜、妻の足はけいれん起きこした。

しかし、今回のフランスが狭く、石畳の上をクフルトの旧市街は車

### （1）皇帝の大聖堂

一二三五年に建てられ

た聖バルトロメオに捧げられた教会だが、

カトリックの典礼は世

十二世紀に聖ニコラウスに捧げられたが、十三世紀には皇帝の礼拝堂

になる。マイン川沿いに

言葉が世界共通で、何をしてい

るかはすぐわかる。

ミサの間、

目を閉じて

皇帝の戴冠

聖堂内は美術博物館のようだ



大聖堂の高さは95メートル

十人の皇帝が戴冠式を

している。写真

